令和6年度　芳賀町立芳賀中学校　学校評価書

学校評価のねらい
　すべての教育活動その他の学校運営が効果的に実施できているかどうか、保護者、学校、地域住民(学校評議委員＝学校関係者評価委員)等が連携し、評価する。それらを通して、生徒がよりよい教育活動を受けられることをめざし、学校をよりよくするための方策を明らかにする。

1 校訓・教育目標・目指す生徒像

校訓	教育目標		目指す生徒像
創造	自ら学ぶ生徒	(創造)	・自分の考えを、自信をもって発表できる生徒
			・自ら課題を見つけ、周囲と協力して解決できる生徒
敬愛	心豊かな生徒	(敬愛)	・心をこめてあいさつし、協働できる生徒
			・清掃活動に一生懸命に取り組める生徒
実践	たくましい生徒	(実践)	・夢や目標に向かって力強く努力する生徒
			・「早寝・早起き・朝ご飯」を着実に実践できる生徒
	ふるさとを愛する生徒	(本校の使命)	・ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ・奉仕活動、地域活動等に積極的に参加できる生徒
			・運動・文化芸術活動等に意欲的に取り組める生徒

2 目指す学校像

すべての生徒と教職員が
　夢を育み　知を磨き(創造)　心豊かに(敬愛)　汗を流して(実践)　　高め合う学校

3 学校経営の方針

基本経営理念：「芳賀町に誇りをもち　明日の芳賀町を担う生徒の育成」　　～誇れる、つよい学校・生徒づくり～

1 生涯学習社会に生きる生徒の育成
2 望ましい生活習慣と社会性の育成
3 確かな学力の保証
4 豊かな心をもつ生徒の育成
5 健やかな体をもつ生徒の育成
6 全職員による学校経営参画（チーム学校の実践）
7 家庭や地域、関係機関との協働による学校経営（チーム学校の実践）

4 本年度の指導視座と重点項目

視　　座：１０年後の勝負に勝てる生徒を育成
重点項目：人間力の基礎・基盤をつくる…思いやりの心と確固たる生活習慣
　　→明日の、10年後の自分のために「時を守り　場を清め　礼を正す」

5 本年度の重点目標・努力点

1 確かな学力を身に付けた生徒の育成　　**プロジェクト知**
①学習形態を工夫、習熟度学習、ＩＣＴの活用　　②話をつなぐ教師の指導スキルの向上
③魅力ある教材の収集　　④教科部会での授業研究等の充実

2 豊かな心をもつ生徒の育成　　**プロジェクト徳**
①有効な補助教材の共有化　　②道徳的実践力に結びつくよう指導　　③学校行事を通して生徒が感動を共有
④「３つのルール」の徹底。　（時間いっぱい、無駄話せず全力で、身支度整える）

3 健やかな体をもつ生徒の育成　　**プロジェクト体**
①電子機器の使い方の指導　　②担任と栄養教諭や養護教諭と連携した食に関する指導の工夫
③生徒の様子をよく観察しながら主担当と副担当が連携した部活動を充実

4 夢や目標に向かって力強く自己実現を図っていく生徒の育成　　**プロジェクト生き方**
①「居がいのある学級」作りなど学業指導の充実、生活の基盤づくり　　②町等と連携したボランティア活動の充実
③未然防止策や教育相談を充実し、情報の共有化と初期対応の体制強化
④系統立てた進路指導の充実

6 本年度の学校課題

１０年後の社会を担う生徒の育成
　　～ICTを活用し「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」を高める教育～

7 自己評価表

○:目標指数より＋3%以上　×:－3%以下　△:＋3%～－3%

項目	評価項目 【目標指数(A＋Bの肯定的回答)】	主な具体的な取組	評価A＋Bの肯定的回答 【次年度の具体策】
プロジェクト知	**1 生徒の学力の向上** 生徒 私は授業の内容がよくわかる。 保護者 学校は子どもの学力の向上を図っている。 教職員 教職員は、生徒の学力の向上を図っている。 【目標指数】 生徒 85% 保護者 80% 教師 90%	【本年度の具体策】 ・個別最適な学びを推進する。 ・ICTの活用。 等	【本年度の達成状況(今年:ゴシック　昨年:明朝)】 生徒 **83.2%** △ 81.8% 保護者 **84.2%** ○ 81.8% 教師 **97.3%** ○ 100.0% 今年度も、町の指導主事や宇都宮大学の先生等を迎え授業づくりや授業改善に取り組み、研究授業や授業研究会を実施したりしてきた。今後もICTを効果的に活用し、指導主事の協力を要請しながら毎週の教科部会で情報の共有や指導法等の意見交換を活性化することで指導力を向上させ、さらなる生徒の学力向上につなげていきたい。 【次年度の具体策】 ・個別最適な学びを推進する。 ・ICTの活用。
	2 コミュニケーション力 生徒 私は自分の考えを伝えることができる。 保護者 学校は子どもの発表力の向上を図っている。 教職員 教職員は、生徒の発表力・コミュニケーション力の向上を図っている。 【目標指数】 生徒 60% 保護者 80% 教師 90%	【本年度の具体策】 ・話合いや発表の活動を増やし、生徒の発表スキルと自信を向上させる。 等	【本年度の達成状況(今年:ゴシック　昨年:明朝)】 生徒 **66.8%** ○ 63.7% 保護者 **80.1%** △ 80.5% 教師 **100.0%** ○ 93.9% 授業の随所にグループ活動を取り入れたり、小さな意見発表の場を設定したりするなど授業展開を工夫するとともに、タブレットを活用し、学級全体で意見を共有しやすいような工夫をしてきた。同時に、学業指導を行い意見を言いやすい雰囲気作りに努めてきた成果が現れてきたと考えられる。今後も継続し、生徒の表現力やコミュニケーション能力の向上を目指し、自分の考えを表現できる機会を増やしていきたい。 【次年度の具体策】 ・話合いや発表の活動を増やし、生徒の発表スキルと自信を向上させる。
	3 学習意欲の向上 生徒 私は授業に一生懸命に取り組んでいる。 保護者 学校は子どもの学習意欲の向上を図っている。 教職員 教職員は、生徒の学習意欲の向上を図っている。 【目標指数】 生徒 90% 保護者 80% 教師 90%	【本年度の具体策】 ・導入の工夫。 ・小テストで競わせる。 等	【本年度の達成状況(今年:ゴシック　昨年:明朝)】 生徒 **90.2%** △ 90.8% 保護者 **78.4%** △ 77.2% 教師 **97.3%** ○ 97.0% 生徒の主体的・対話的で深い学びを推進するために、これまで継続して指導主事等の指導を受けながら、授業改善を進めてきた。わかる授業や楽しい授業を心がけながら、生徒の疑問やつぶやきからめあてを作り、授業の最後に振り返りを行い、自己の学習状況を確認している。今後も生徒とともによりよい授業を展開するため授業改善を継続していきたい。また、「学力向上の日」(金曜日)と称した朝の学習時間を活用してミニテストを実施し、努力の成果が確認できる体験を重ねた。 【次年度の具体策】 ・導入の工夫。 ・小テストで達成感をもたせる。
	4 家庭学習 生徒 私は家庭学習の仕方・習慣が身に付いている。 保護者 学校は子どもの家庭学習の仕方を指導したり、習慣化を図ったりしている。 教職員 教職員は、生徒の家庭学習の仕方を指導したり、習慣化を図っている。 【目標指数】 生徒 70% 保護者 75% 教師 90%	【本年度の具体策】 ・タブレットPCの有効活用。 ・学習内容の提示。 ・個に応じた指導。 等	【本年度の達成状況(今年:ゴシック　昨年:明朝)】 生徒 **65.5%** × 67.7% 保護者 **71.8%** × 72.8% 教師 **86.5%** × 90.9% 昨年同様、「学びのすすめ」を活用しながら、担任は時間の使い方や繰り返し学習することの重要性を伝えたり、友人の家庭学習帳の例を紹介したり粘り強く指導してきた。教科担任からも学習のポイント、学習方法について繰り返し指導してきた。学校と家庭が連携・協力し同一歩調で生徒に支援できるよう、保護者会や面談等で情報を提供しながら個に応じた学習方法を見付け、家庭学習が習慣化できるようにしていきたい。 【次年度の具体策】 ・タブレットPCの有効活用。 ・学習内容の提示。 ・個に応じた指導。
	5 授業力の向上 生徒 私は授業が楽しく、わかりやすいと感じている。 保護者 学校は、子どもに楽しく、わかりやすい授業を提供している。 教職員 教職員は、生徒にとって楽しく、わかりやすい授業を展開している。 【目標指数】 生徒 80% 保護者 75% 教師 90%	【本年度の具体策】 ・個別最適な学びについて、理解を深める。 等	【本年度の達成状況(今年:ゴシック　昨年:明朝)】 生徒 **81.1%** △ 77.4% 保護者 **81.1%** ○ 77.2% 教師 **94.6%** ○ 100.0% 「学び合い」の研究推進で、授業の進め方や生徒が意見交換をしたり発表したりする時間の設定等について教科部会で共有し実践してきた成果が出てきている。また、個別最適な学びの観点から、学習内容の理解の一助になるようタブレットPCや電子黒板、デジタル教科書等のICT機器も積極的に活用している。今後も、大学の先生等を招聘し指導主事の支援を請いながら授業づくりや授業改善に取り組み、研究授業や授業研究会が楽しく分かりやすい日々の授業に繋がるようにしたいと考えている。 【次年度の具体策】 ・個別最適な学びについて、理解を深める。

プロジェクト 徳	6 **道徳の授業** **生徒** 私は道徳の時間に、テーマについて一生懸命考えている。 **保護者** 学校は様々なテーマに沿った道徳の授業を展開している。 **教職員** 教職員は、年計に沿って道徳の授業を進めている。 【目標指数】 生徒 90% 保護者 80% 教師 90%	【本年度の具体策】 ・年計に沿って計画的に授業を進める。 ・各学年内で、有効な補助教材の共有化を図る。 等	【本年度の達成状況(今年:ゴシック 昨年:明朝)】 生徒 **86.9%** × 86.1% 保護者 **79.4%** △ 78.5% 教師 **83.8%** × 78.1% 「考え、議論する道徳」を目指し、ペアやグループでの意見交換、クラス全体での共有するなど話合いの場を設定したり、問い返しや多面的・多角的に考えられるような多様な発問を行ったりと授業展開も工夫してきた。保護者は79.4%(昨年78.5%)という割合であったが、14.8%がわからないと答えている。毎月、学年だよりに道徳で取り扱うテーマや題材名などを掲載したり、道徳通信を10月に発行したりしたが、今後も学級通信などでも情報を発信できるようにしたい。 【次年度の具体策】 ・年計に沿って計画的に授業を進める。 ・各学年内で、有効な補助教材の共有化を図る。 ・学級通信等に、道徳の授業について定期的に掲載する。
	7 **道徳的実践力** **生徒** 私は道徳の時間に考えたことを実践しようとしている。 **保護者** 子どもは進んでよいことをしようとする心が育っている。 **教職員** 教職員は、道徳の授業の中で道徳的実践力に結びつくよう指導している。 【目標指数】 生徒 75% 保護者 85% 教師 85%	【本年度の具体策】 ・振り返りを充実させ、題材と自分との関わりを捉えられるようにする。 等	【本年度の達成状況(今年:ゴシック 昨年:明朝)】 生徒 **71.1%** × 72.6% 保護者 **84.5%** △ 81.1% 教師 **91.9%** ○ 81.8% 道徳教育の目標は、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うことである。道徳の授業を日常につながるように、日頃から道徳的な話題を生徒に提供し、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育ててきた。また、家庭と学校とで話題を共有できるよう、道徳のテーマや題材を学年だよりに掲載したり、道徳通信を発行したりしている。今後も、生徒が自分事として考え自らの成長を実感し、道徳的実践力が向上するような工夫を継続していきたい。 【次年度の具体策】 ・掃除のやり方を、お掃除ボランティアさんと一緒に教える。 ・学校生活全般において、担任が指導する際に、道徳の授業での話しを想起させる。
	8 **学校行事** **生徒** 私は学校行事に積極的に取り組み、感動を共にし、充実感が味わえた。 **保護者** 学校は学校行事を通して、子どもが感動を共有し、充実感が味わえるようにしている。 **教職員** 教職員は、学校行事を通して、生徒が感動を共有し、充実感が味わえるようにしている。 【目標指数】 生徒 90% 保護者 90% 教師 90%	【本年度の具体策】 ・行事を通して、生徒・保護者・教職員が感動を共有し、充実感が味わえるよ 等	【本年度の達成状況(今年:ゴシック 昨年:明朝)】 生徒 **92.4%** △ 88.8% 保護者 **94.8%** ○ 95.0% 教師 **94.7%** ○ 97.0% 本年度から体育祭が5月に実施となり、6月初めには宿泊的行事を行ったが、1学期の学級集団づくりとして級友と共通の目標に向かって団結する大きなきっかけとなった。10月下旬には町民会館で文化発表会を行い、各クラスとも練習段階からリーダーが中心となって熱心に取り組み、すばらしいハーモニーを披露し保護者の皆様とも感動を共有することができた。宿泊を伴う行事では、保護者のご理解・ご協力のもと、通常通り2泊3日で実施し大きな成果を上げることができた。 【次年度の具体策】 ・行事を通して、生徒・保護者・教職員が感動を共有し、充実感が味わえるようにする。
	9 **清掃活動** **生徒** 私は清掃活動に一生懸命取り組んでいる。 **保護者** 子どもは清掃活動に一所懸命取り組んでいる。 **教職員** 教職員は、清掃活動において、「3つのルール」を徹底させている。 【目標指数】 生徒 90% 保護者 80% 教師 80%	【本年度の具体策】 ・清掃のルールや役割分担を明確にし 等	【本年度の達成状況(今年:ゴシック 昨年:明朝)】 生徒 **92.7%** △ 93.5% 保護者 **81.8%** △ 81.1% 教師 **89.5%** ○ 78.8% 教師は生徒とともに生徒指標の一つである「場を清め」の実践を図り、3つのルール「時間いっぱい、無駄話をせず全力で、あいさつをしっかり」を定着させながら勤労意欲や愛校心の向上を図っている。また各クラスでは、清掃活動だけではなく、机の中やロッカーなど身の回りの整理整頓を継続して指導し教室環境の美化に努めている。お掃除ボランティアの方々とも連携しながら、生徒の勤労意欲に働きかけていきたい。 【次年度の具体策】 ・清掃のルールや役割分担を明確にし、いつでも確認できるようにする。 ・掃除のやり方を、お掃除ボランティアさんと一緒に教える。
	10 **生活習慣** **生徒** 私は「早寝・早起き」(23時就寝、6時30分起床)を実践している。(習いごとのない日) **保護者** 子どもは「早寝・早起き」(23時就寝、6時30分起床)を実践している。(習いごとのない日) **教職員** 教職員は、「早寝・早起き」(23時就寝、6時30分起床)を指導している。(習いごとのない日) 【目標指数】 生徒 75% 保護者 75% 教師 100%	【本年度の具体策】 ・「早寝早起き」(23時就寝、6時30分起床)(習い事がない日) ・実践できない生徒が固定化されているので、実態を把握し働きかける。 ・電子機器の使い方の指導を継続する。 ・保護者への啓発。 等	【本年度の達成状況(今年:ゴシック 昨年:明朝)】 生徒 **70.7%** × 72.6% 保護者 **71.5%** × 76.8% 教師 **81.1%** × 97.0% 中学生の発達段階を考えると体と記憶の関係から8～9時間の睡眠が必要である。睡眠時間は免疫力、体の発達、脳の発達と関わりがあると考えられており、早寝早起きが重要である。今後も生徒の実態把握に努め、就寝前のICT機器(ゲームやスマートフォン等)の利用を控えて質の高い睡眠となるよう学校と家庭が連携し、規則正しい生活習慣を確立できるよう働きかけていきたい。 【次年度の具体策】 ・「早寝早起き」(23時就寝、6時30分起床)(習い事がない日) ・実践できない生徒が固定化されているので、実態を把握し働きかける。 ・電子機器の使い方の指導の継続。 ・保護者への啓発。(保護者会活用など)

プロジェクト体	**11 生活習慣（朝食）** **生徒** 私は朝食を毎日食べている。 **保護者** 子どもは朝食を毎日食べている。 **教職員** 教職員は、生徒が朝食を毎日食べるよう指導している。 【目標指数】 生徒 95% 保護者 95% 教師 100%	【本年度の具体策】 ・引き続き声かけをする。 ・早起きを心掛けさせる。 ・一口でも朝食を食べるように声掛けする。 ・習慣作りをする。 等	【本年度の達成状況（今年：ゴシック　昨年：明朝）】 生徒 **92.4%** △ 92.0% 保護者 **91.8%** × 94.7% 教師 **86.5%** × 97.0% あまり食べない、全く食べないと回答した生徒が23名おりたいへん憂慮している。朝食を摂ることは一日の重要なエネルギー源となるとともに、脳とからだをしっかり目覚めさせることに繋がる。その結果、授業中の学習効果が高まり学力向上にもなるとされている。今後も、朝食を摂ることの大切さを折に触れて生徒に伝え、給食だより保健だより等でも啓発し、保護者と意識を共有して、朝食摂取率100%を目指していく。 【次年度の具体策】 ・引き続き声かけをする。 ・早寝、早起きを心掛けさせる。 ・何でもいいので食べるよう声かけする。 ・習慣作り（登校30分前までには起床） ・保護者への啓発。（保護者会活用など）
	12 生活習慣（食生活） **生徒** 私は好き嫌いなく食べることができる。 **保護者** 子どもは主食、主菜、副菜をまじえて食べるなど、望ましい食習慣を身に付けている。 **教職員** 教職員は、主食、主菜、副菜をまじえて食べるなど、望ましい食習慣を身に付くよう指導している。 【目標指数】 生徒 80% 保護者 80% 教師 92%	【本年度の具体策】 ・好き嫌いなく食べるように声かけをする。 ・生産者の方の声を聞かせる。 ・調理員さんに感謝する会を3学年全てで行う。 ・生徒に苦手な野菜を克服する料理を考えさせ、給食に出す。 等	【本年度の達成状況（今年：ゴシック　昨年：明朝）】 生徒 **77.8%** △ 77.9% 保護者 **79.4%** △ 82.5% 教師 **97.3%** ○ 90.9% 概ねバランスのよい食事を心がけ、実践していると考えられる。その一方で、69名21%(昨年度は86名)の生徒が、嫌いなものは食べていない傾向にある。バランスのよい食生活は、健康な体や精神を維持し、免疫力を高め、思春期である中学生にとっては、心の成長にも大きく影響する。今後も嫌いな物でも少しは食べるといったことを、給食だより等で啓発しながら、各家庭と連携して進めていきたいと考える。地産地消の観点からも、生産者の方の声を生徒に聞かせる機会を持ちたい。 【次年度の具体策】 ・好き嫌いなく食べるように声かけをする。 ・生産者の方の声を聞かせる。 ・調理員さんに感謝する会を行う。 ・生徒に苦手な野菜を克服する料理を考えさせ、給食に出す。
	13 部活動 **生徒** 私は部活動（文化系も含む）に一生懸命取り組んでいる（取り組めた）。 **保護者** 学校は部活動の指導を一生懸命に取り組んでいる。 **教職員** 教職員は、部活動の指導を一生懸命にやっている。 【目標指数】 生徒 93% 保護者 90% 教師 97%	【本年度の具体策】 ・多くの先生の目でよく観察する。 ・その子にあった指導をする。 ・継続的に休んでいる生徒への声かけをする。 等	【本年度の達成状況（今年：ゴシック　昨年：明朝）】 生徒 **92.0%** △ 92.0% 保護者 **93.1%** ○ 88.4% 教師 **97.4%** △ 97.0% 本校の部活動は「芳賀中プライド」を意識させ、「勝てばいい」という成績だけを求めるのではなく、取り組む姿勢やあいさつ、整理整頓、大会会場での態度など礼儀作法や生活態度を正すことでプレーに磨きがかかることを生徒に伝え、心を育てるような指導を心がけている。これらの成果として、今年度も多くの部活動が県大会、関東大会に出場したり、多くの感動的な場面を生み出したりし、生徒の人間的な成長へと繋がり学校生活へもよい影響を与えている。これらは保護者の皆様の物心両面に渡る手厚い支援のおかげと感謝している。 【次年度の具体策】 ・多くの先生の目でよく観察する。 ・その子にあった指導をする。 ・継続的に休んでいる生徒への声かけをする。 ・顧問が早く部活に行く。
	14 安心な学校生活 **生徒** 私は学校生活が楽しい。 **保護者** 子どもを学校に安心して預けられる。 **教職員** 教職員は、信頼される学校づくりに努力している。 【目標指数】 生徒 85% 保護者 90% 教師 100%	【本年度の具体策】 ・学業指導の手引きの内容を、改善・充実し、職員間で共有しながら「居がいのある学級」作りを行う。 ・HPに情報提供の充実。 等	【本年度の達成状況（今年：ゴシック　昨年：明朝）】 生徒 **87.5%** △ 86.6% 保護者 **94.2%** ○ 95.0% 教師 **100.0%** ○ 100.0% 安心して預けることができるという回答の一方で、30名の生徒に否定的な回答が見られ、本校としては重要な課題と捉えている。教師は、生徒、保護者から信頼される学校を目指し、全ての生徒にとって居がい感があり楽しいと笑顔で言える学級・学校づくりに引き続き一層の努力が必要と考えている。「学校が楽しい」が生徒の学力や体力の向上に繋がり、保護者の皆様からの信頼を得ることにも繋がる。これらを、全職員が同一歩調で取り組んでいきたいと考えている。 【次年度の具体策】 ・学業指導の手引きの内容を、職員間で共有し同一歩調で「居がいのある学級」作りを目指す。 ・HPに情報提供の充実。
	15 いじめ対応 **生徒** 私はみんなが安心して気持ちよく生活できるように行動している。 **保護者** 学校はいじめが起こらないように、また、起こったときにはすぐ解決するように取り組んでいる。 **教職員** 教職員は、いじめが起こらないように、また、起こったときにはすぐに解決するように取り組んでいる。 【目標指数】 生徒 90% 保護者 75% 教師 100%	【本年度の具体策】 ・情報の共有化と、初期対応の体制強化をしていく。 ・業務の精選により、生徒に関わる時間を増やし未然防止を図る。 等	【本年度の達成状況（今年：ゴシック　昨年：明朝）】 生徒 **88.4%** △ 88.8% 保護者 **78.7%** ○ 73.8% 教師 **100.0%** ○ 100.0% 本校ホームページに、いじめ防止基本方針を掲載し、「いじめをおこなさい」「いじめは絶対に許さない」という強い姿勢で取り組んでいる。「生徒居るところに教師あり」を実践し、本年度も生徒指導委員会や学年主任会を毎週開催し、生徒情報を共有し初期対応を一枚岩となって取り組んでいる。生徒自身には、いじめアンケートや教育相談を毎学期実施し悩み等を表出しやすい環境づくりに配慮するとともに、「学業指導」を通して、いじめのない学級作りを行っている。教職員が生徒と関わる時間を増やし未然防止を図りながら、いじめのない芳賀中学校を目指していきたい。 【次年度の具体策】 ・情報の共有化と、初期対応を一枚岩で取り組む。 ・業務の精選により、生徒に関わる時間を増やし未然防止を図る。

			・全学年で、問題行動への対応を共通理解し、指導に当たる。 ・ICTを活用して月1回程度アンケートを実施する。

プロジェクト 生き方	**16 基本的生活習慣** **生徒** 私は「時間を守る」「整理整頓」「あいさつ」の生活習慣が身に付いている。 **保護者** 学校は「時間を守る」「整理整頓」「あいさつ」の生活習慣の定着を図っている。 **教職員** 教職員は、「時間を守る」「整理整頓」「あいさつ」の生活習慣の定着を図っている。 【目標指数】 生徒 85% 保護者 85% 教師 100%	【本年度の具体策】 ・生活習慣を、生徒会や委員会の活動のもと、全学年、全クラスに同一歩調で身に付けさせる。 ・あいさつ運動の、内容の工夫改善を図っていく。(各クラスごとなど) 等	【本年度の達成状況(今年:ゴシック 昨年:明朝)】 生徒 **93.0%** ○ 92.3% 保護者 **88.0%** △ 88.1% 教師 **100.0%** ○ 93.9% ご家庭の協力もあり登校時刻など生徒指標の一つ「時を守り」に関しては、よくできている。「礼を正す」に関わるあいさつについては年度当初から全職員で呼びかけ、生徒会のあいさつ運動を始め生徒とともに日々実践し、現在校内でのあいさつの声が確実に増えてきている。今後、地域の方々を含めた校外に広げていき地域を明るくするのに一役買えるよう、家庭や地域と連携し、芳賀中のよき伝統となるように努力していきたい。 【次年度の具体策】 ・生活習慣を、生徒会や委員会の活動のもと、全学年、全クラスに同一歩調で身に付けさせる。 ・職員もチャイム前に教室へ行く。 ・あいさつ運動の、内容の工夫改善を図っていく。(各クラスごとなど)
	17 地域貢献活動 **生徒** 私は地域行事に参加したり、地域の方にあいさつしたり、地域や他の人のためになる行動がとれている。 **保護者** 学校は子どもが地域行事に参加したり、地域の方にあいさつをしたり、地域や他の人のためになる行動がとれるように指導している。 **教職員** 教職員は、生徒が地域行事に参加したり、地域の方にあいさつをしたり、地域や他の人のためになる行動がとれるように指導している。 【目標指数】 生徒 70% 保護者 80% 教師 95%	【本年度の具体策】 ・コミュニティスクールの実践に合わせて、学校支援ボランティアの活動を充実させる。 ・町と協力してジュニアボランティアの活動の、充実を図る。 ・地域での活動の際に、中学生らしい行動が取れるように指導する。 等	【本年度の達成状況(今年:ゴシック 昨年:明朝)】 生徒 **77.1%** ○ 78.4% 保護者 **82.1%** △ 82.8% 教師 **100.0%** ○ 90.9% コロナ禍以降、地域の方と触れ合う機会が減少していたが、少しずつ回復してきている。本年度、生徒がテーマについて自由に話し合う「芳賀中しゃべり場」を数回開催し、生徒自らが自分たちが地域にどんなことができるかを考え話し合う機会を持った。引き続き呼びかけながら、募集や参加しやすい体制を町生涯学習課とも検討し、地域と共に生徒を育てていきたい。あいさつに関しては、校長講話や各学級で呼びかけており、学校運営協議会でも話題にしながら、継続して生徒に働きかけていきたい。 【次年度の具体策】 ・コミュニティスクールの実践に合わせて、学校支援ボランティアの活動を充実させる。 ・町と協力してジュニアボランティアの活動を、充実を図る。 ・地域での活動の際に、中学生らしい行動が取れるように指導する。 ・芳賀中しゃべり場の充実・実践
	18 夢の達成 **生徒** 私は夢や目標をもち、その達成のためにがんばっている。 **保護者** 学校は子どもが夢や目標をもち、その達成のためにがんばるように指導している。 **教職員** 教職員は、生徒が夢や目標をもち、その達成のためにがんばるように指導している。 【目標指数】 生徒 75% 保護者 80% 教師 100%	【本年度の具体策】 ・系統立てた進路指導の充実を図る。(学校行事と関連させる) ・教育相談の充実を図る。 等	【本年度の達成状況(今年:ゴシック 昨年:明朝)】 生徒 **79.3%** ○ 76.9% 保護者 **82.5%** △ 81.5% 教師 **97.5%** △ 100.0% 今年度も、マイ・チャレンジや立志の船、のぶ幼稚園でのふれあい体験学習等を実施したり、キャリア通信「夢をつかめ」を発行し生徒・保護者にとって有益な情報の発信に努めたりするなど、系統立てたキャリア教育の充実を図ってきた。進学などの進路指導に陥らずに、今後も、生徒一人一人が将来について考え、夢に向かって一生懸命に努力できるように支援を続けていきたい。同時に、保護者や地域、町関係部局とも連携・協力することで生徒への教育効果を高めていきたい。 【次年度の具体策】 ・系統立てた進路指導の充実を図る。(学校行事と関連させる) ・教育相談の充実を図る。 ・HPに情報提供の充実。

8 学校関係者評価のまとめ

評価(4:そう思う 3:ややそう思う 2:あまり思わない 1:思わない)

	評価事項	評価(人)				意見等の自由記述欄
		4	3	2	1	
1	学校は、学校関係者評価委員(学校運営協議会委員)との間で、十分な意見交換や対話を行い、学校の状況について相互の共通理解を深めるよう留意しましたか。	5				・とても話しやすい環境で、学校の様子がよくわかりました。 分科会を通して、互いに協力し合えることを話し合えるのは、心が弾む。今後も更に一歩踏み込める様に意識を持つことは両者で努めることです。 ・いつも丁寧なご説明や資料作成ありがとうございます。生徒の皆さんとの意見交換が出来れば更に理解が深めれれると思います。
2	学校は、安心・安全な学校づくりに努めていますか。	5				・青パトをやる人が年々減っている気がします。青パト参加者が15名程度でもう少し下校中青パトを活用してほしいと思いますが、保護者も忙しいので地域の方にもご協力いただけるような方法があるといいなと思いました。 ・地域の方々も協力できる取り組みがあれば考えたいと思います。
3	学校は、地域と連携・協働し、地域から愛され、地域に貢献できる学校づくりに努めていますか。	4	1			・与能自治会の協力を得て、地元の祭りに参画していくことや「しゃべり場」での今後の展開で生徒に「おもしろみ」を感じてもらえることに期待します。 ・生徒の皆さんが地域活動に関心を持ち、参加を促すような取り組みを地域と連携して行っていただきたいと思います。
4	学校は、学校経営の方針を「本年度の努力点」に反映して教育活動を実施しましたか。	4	1			

5	児童・生徒、保護者による学校評価アンケートの「評価項目」や教職員による自己評価の「評価項目」は適切ですか。 (「本年度の努力点」の実施状況が把握できるようアンケートが構成されていますか。)	3	2			・例えば学力に関する評価において、生徒や教師の皆さんがICT、電子機器等を有効に使いこなせているかなどについて尋ねてみてはいかがでしょうか。
6	保護者アンケート結果に対する学校の考察と改善策や学校の自己評価における考察と改善策は適切ですか。	4	1			・学校の考察や改善策に対する保護者の意見を改めて聞く機会を設けてはいかがでしょうか。
7	学校の自己評価における達成状況は適切ですか。	4	1			・未達成の項目もありますが、生徒、保護者、教師の評価を総合的に判断し、適切に評価していると思います。
8	学校は、自己評価並びにそれを踏まえた今後の改善方策について、広く保護者に公表していますか。	5				・「はがの」9号大変わかりやすく、学校の姿勢が汲み取れる。
9	学校は、全ての教育活動を通して、学校教育目標の実現に努めていますか。	5				
10	学校は『芳賀町こども憲章』の達成状況を自己評価にて把握していますか。					
	①『やりぬく心』 将来の夢や目標に向かって学び、努力します	4	1			・長期的な視点で生徒一人一人に寄り添った対応が求められると思います。
	②『元気なあいさつ』 心を込めてあいさつし、地域の人を笑顔にします	5				・地域の協力を得ることは、実は重要と考える。その方法を町も巻き込み、町民全体で子供を育てる意識を持たせる術を考えて行かなければならない。 ・地域の人たちを巻き込んだあいさつの取り組みが出来るとよいと思います。
	③『正しい習慣』 体と心をきたえ、健康に過ごします	4	1			・早寝早起きの実行を可能とする学校運営や家庭、地域の環境づくりが重要だと思います。
	④『思いやりの気持ち』 命の大切さを理解し、いじめを許さず、友情を育みます	5				・他者の人格、気持ちや考え方を尊重し感じることはこれからの社会でも重要だということを学んでほしいです。
	⑤『誇れるふるさと』 美しい自然と良き文化を大切にします	4	1			・地域の活動に参加し、自らも地域の一員であるとの自覚を持っていただけるとうれしいです。

11 今回の学校関係者評価から、次年度(令和6年度)の学校経営方針に対するご意見やご提言があったら自由にご記入ください。

・分科会参加者の「今の中学校に通いたかった」という感想からも，中学校が落ち着いて，楽しく学べる場所になっていると感じました。
学校の「労力奉仕」活動は，是非とも実現したいと思います。地域にとっても取り組み易い活動だと考えます。ボランティアコーディネーターと連携し，緩く繋がりが広がっていく方法を検討し，実践に結び付けて行きたいです。
日頃から学校に地域の人が入れる環境が出来てくれば，生徒の挨拶などもより良くなっていくと思います。
・基本経営理念「…明日の芳賀町を担う生徒の育成」のため、最初に「1．生涯学習社会に生きる生徒の育成」を掲げている点は素晴らしいと思います。現在、中学校で学んでいることは今後の人生の基礎となる大切なものばかりですが、変化の著しい現代社会で夢や目標を達成するには、生涯学び続けて知識や考え方を更新、時には修正していく姿勢を身に付けることが、学校教育の最も大切な目標だと思います。これからも大切にしていただきたい理念です。
なお、経営方針に掲げるこれらの理念は、基本的に継承しつつ、それを実現していくための「本年度の重点目標・努力点」については、教育環境の変化に対応した検討も必要かと思います。例えば、今後、部活動の地域移行が進んだ際には、部活動の場での生徒と教員の関わりが少なくなることで、授業や学校行事以外での生徒たちの様子をどう把握していくのか、活動の時間や内容の変化が生徒の健康維持や学校運営にどのように影響するのかなどの視点から、取り組み内容を見直していくことも必要ではないでしょうか。
・分科会で校長先生から提言があったように、町民の力を借りて学校経営することで町民の生徒、学校に対する想いがより一層強まり、生徒も地域の中で育っていくことを実感出来るので相乗効果が期待出来ると思われる。実現方法として「小さな一歩」からまずやってみて、地域の声が拡がっていくことで協力者が増えていくと考えられるので、先に考えて実践出来れば良いです。

9 学校関係者評価を受けて

・今年から体育祭が5月に実施となり、6月初めには例年通りに宿泊的行事を実施しましたが、1学期の学級集団づくりとして級友と共通の目標に向かって団結する大きなきっかけとなりました。10月下旬には町民会館で文化発表会を行い、各クラスともすばらしいハーモニーを披露し保護者とも感動を共有することができました。次年度も学校行事の持ち方を工夫しながら、生徒が主体的に活動し育てる場としていきたいと考えています。
・道徳については、保護者への情報発信が不足していることが浮き彫りになりましたので、毎月の学年だよりや学級通信、道徳通信、ホームページ等を活用しながら学校での取り組みについてお知らせしていく必要があると考えます。
・学力向上とりわけ授業改善については、肯定的な回答が生徒、保護者ともに上昇しており、これまで数年に渡って行ってきた取り組みに対し一定の評価を得られました。今後もICTを効果的に活用し指導主事の協力を要請しながら、教科部会での意見交換を活性化するなどし指導力を向上させ、さらなる生徒の学力向上に繋げていきたいと考えています。
・早寝・早起き、朝食に関する項目では、今後も生徒の実態把握に努め就寝前のICT機器の利用を控えるなど学校と家庭が連携し、規則正しい生活習慣を確立できるよう働きかけるとともに、朝食の大切さについて給食だよりや保健だより等で啓発しながら朝食摂取率100％を目指していきたいと考えています。
・学校生活、いじめに関する項目では、生徒、保護者ともに肯定的な回答が高い割合であったが、30名の生徒に否定的な回答が見られることを重要な課題と考えます。全ての生徒にとって居がい感があり「芳賀中学校が楽しい」と笑顔で言える学級・学校づくりに引き続き一層の努力が必要と考えています。学業指導を通して、いじめのない学級づくりを行うことで、「学校が楽しい」が生徒の学力向上、体力向上に繋がり保護者からの信頼に繋がる。これらに全職員が同一歩調で取り組んでいきたいと考えています。
・地域行事への参加では、本年度「芳賀中しゃべり場」を数回開催し、生徒自らが自分たちが地域に対し出来ることについて考え話し合う機会をもちました。引き続き生徒に地域行事への参加を呼びかけるとともに、募集や参加しやすい体制を町生涯学習課とも検討し、地域とともに明日の芳賀町を担う生徒の育成に寄与したいと考えています。
・学校教育に変革が求められる中、「不易流行」を全教職員で模索しながら、学校、家庭、地域が十分に連携し生徒指標「時を守り　場を清め　礼を正す」の下、周囲から信頼・信用を得られる人格を形成しながら「芳賀町に誇りをもち、明日の芳賀町を担う生徒の育成」に取り組んでまいります。